

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370400869
事業所名	グループホーム 清里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	事業所開設から10年以上が経過し、地域の自治会、子ども会、保育園、消防団とは良い関係が出来ている。回覧板や行事案内をもらい、学区のお祭りや運動会、餅つき大会に出かけ、住民や子供たちと交流をしている。散歩コースに公園があり挨拶を交わしたり、レクリエーションを楽しみ、触れ合う機会を大切にしている。バイオリン、フルート、サクソ、太鼓、ギターといった音楽関係のボランティアの訪問で音楽を聞いたり、はじめて化粧会を開催し、好評だった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	会議は2か月毎に地元自治会長、民生委員長、利用者家族、消防団長、事業所側から管理者、ケアマネージャー、チーフの参加を得て開催している。いきいき支援センターは年1回出席している。事業所の近況報告や行事、外部評価について報告したり、利用者1名も自ら参加したいと希望し、消防団長による救急救命講習も実施されている。参加者から活発に意見や質問が出され、意見交換されている。出された意見は職員にも伝え、日々のケアやサービスの向上に繋げている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	介護保険課の支所へ書類やホームだよりを持って訪問し、何かあれば相談できる関係づくりに努めている。家族との対応等事業所内で解決できないような問題は、市役所と電話やFAXでやりとりしている。3か月毎にホームだよりを持参しているいきいき支援センターとは、今後さらに密接に連携していきたいと考えている。市主催の研修に職員の参加を促している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	面会時に日常の様子を説明しながら、家族から要望や意見を聞き取っている。個別ケアに力を入れており、個別の些細な事にも耳を傾けて対応している。外部評価の家族アンケートには、事業所の親身な対応への感謝の言葉がたくさん記入されており、家族との良好な関係が伺える。「清里だより」は行事や日々の様子がわかる写真を入れて3か月毎に作成され、家族に送付している。今後は、行事への家族の参加を呼びかけていきたいと考えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。